

ワンポイント家庭の医学

白血病

医学書では白血病は、血液細胞が幹細胞から出来てくる途中で起こった異常により無制限に増殖する血液のガンだとしています。

そして、この治療には1993年からはじまった骨髄移植と4年後の臍帯移植が行われています。今年の2月22日に骨髄移植と臍帯移植合わせて10000件を超えたそうです。しかし、その生存率ははっきりしません。

骨髄バンク、臍帯血バンクに登録してくれる方は全て善意でおこなわれています。この方たちが、移植された人のその後を知る術はないのです。個人情報隠れ蓑にして経過報告は、一切されていません。

昨年11月に歌手の本田美奈子さんが亡くなりました。

彼女は、1月に入院し抗がん剤治療を開始して、5月に臍帯血移植をし8月に骨髄移植をし、9月にはアメリカから取り寄せた新しい抗がん剤を投与しつつには11月6日に永眠してしまっただけです。

彼女は、入院する前は風邪のような症状が続くので念のため検査をと軽い気持ちで病院へ出かけて行ったのです。それが僅か10ヶ月で亡くなったのです。

ウェブサイト上でも苦しい闘病生活の末に亡くなっている方が何と多いことでしょうか！

骨髄移植や臍帯血移植が夢の治療であるならば、もっと生存率が上がってなければなりません。

何故治らないのでしょうか？

それは、根本が間違っているからです。

今の医学は、ウイルヒョウの「細胞分裂説」を基にしている治療だからです。医学の基礎理論が間違っていればそれに基づいた治療では効果がなくて当然です。血液は骨髄では造られない。血液は腸で造るものです。血液は毎日2000億個造られているそうですが、それらは何処へいつているのでしょうか。

現代医学は、それに答えることができません。

単に老廃物や酸素を運ぶだけならこのように毎日必要としないのです。

赤血球が全ての母細胞になっていて、白血球やリンパ球、臓器や筋肉を造っていくのです。

ガンとは、この血液の劣化によって起こる慢性炎症です。

がん細胞は、これ自体が原因ではなく結果として起こったものです。ですから、手術でがん細胞を摘出してでもがん細胞化した原因を変えない限りやがて再発や転移することになるのです。

しかも、抗がん剤や放射線の治療で極端に免疫力が低下するとあっという間に症状が悪化してしまい第2、第3の本田美奈子を造っているのです。

そもそも医師の「がん宣告」など実はいい加減なのです。

何故ならがん細胞を顕微鏡で見ると千差万別で似かよって見えるものより違って見えるもののほうが遥かに多いのです。

ウイルヒョウの言うようにがん細胞が本当に分裂して増殖するのなら同じか似かよっているはずですが。

しかし、実際はまったく違うのです。つまり、医師は総合的に判断して「ガン宣告」を下しているのが実情です。

それなのに、がん細胞は無限に増殖してくるといふ恐怖感を患者に植え付けてしまっているのです。

ガンの治療に必要なのは科学ではありません。

「気、血、動」といって何やら古めかしい感じのする言葉こそが実は最先端技術に勝るものなのです。

ココロの持ち方、血液の浄化、それには食の正しい摂りかた、そして動はその流れです。

気の流れ、血の流れ、そして筋肉の運動です。

これ以外でガンを治すことはできないのです。